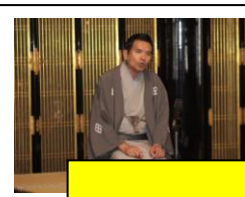
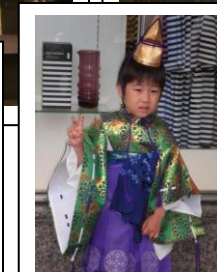


聞 ・ 聞 ・ 聞

発行責任者 浄土真宗本願寺派 正善寺 住職 酒井光義 平成22年11月7日
〒802-0045 北九州市小倉北区神岳二丁目10番31号 電話093(541)2409番



親鸞聖人
750回
大遠忌
小倉組
お待ち受け
法要
10/30・31



小倉御坊で
お待ち受け

親鸞聖人750回大遠忌小倉組お待ち受け法要に参加しました！

10月30日は **稚児行列** 駅前から銀天街を通り井筒屋へと練り歩き。稚児90名、総勢300名余りとなりました。翌日31日は小倉御坊「永照寺」にて、正装七条袈裟姿、二十余名の法中様方が出勤しての**大法要**。堂内では雅楽が演奏される中、厳かななかにも、高々に華やかな散華がなされました。参加500名余り。 **お昼**は温かい「おうどん」と「おにぎり」に「唐揚げ」。…思わずにっこり。その後は桂小春団治師匠の**落語**『念仏道楽』で楽しみました。一面に写真をトピックスで掲載しています。ご覧下さい。五十年に一度のご勝縁。尊いご縁となりました。たくさんのご協力ありがとうございました。

百歳の誕生を祝う

菊川マツ子様、おめでとうございます



今年も正善寺ご門徒のなかで2名、百歳のお祝いを受けられました。今後もお元気で。お身体いたわりください。菊川さんは「87歳の時、お寺の旅行で京都へ娘と一緒に参りできたことが、何よりの思い出です。」と話されておられました。ありがたいことです。八木さんもお元気で！

八木ユキ様、おめでとうございます

平成22年度分 **報恩講の際ご進納ください。総代会**

- * 『お仏飯米』お米を「仏飯米供物袋」に入れてお届け願います。
- * 『門信徒護寺会費』一世帯について 年間1口 金 3,000円 以上
- * 『納骨所維持管理費』当山納骨所使用の方 管理費年間 金 3,000円

いづれも過年度分未納額がありましたら納入方お願い致します。不明の場合お尋ね下さい。

新規『初御講』のご案内

昨年の11月から本年10月までの間で、

「往生された方のおられる家庭が初めての報恩講を迎える」ということで、遺徳を偲んで「初御講－特別追悼会」を下記の通りお勤めいたします。過去帳を持参しご参集ください。精進の御齋もご接待させていただきます。おそろいでお参りください。

- ◎ 11月21日（日）午前11時集合 11時15分開式 一階納骨所にて
準備の都合により、参加の有無をお知らせください。

ご 案 内

御 正 忌 報 恩 講 法 要

11月	19日(金)	20日(土)	21日(日)
昼 席	午後1時30分	午後1時30分	午後1時30分
			おとき12時より

講 師 (大分県宇佐市・崇福寺前住職)

本願寺派布教使 前 田 賢 聖 師

どうぞお誘いあわせのうえお参り下さい。

みんなでピカピカ!!

「お 磨 き」11月16日(火)

10:00より15:00 まで

報恩講を迎えるにあたり本堂の金仏具を磨き、納骨堂等のお掃除をします **昼食準備しています** 男性の方もお待ちしております。正善寺女性の会「かすみ草の会」お磨きとあわせ開催します。お集まりください。

「お 齋 接 待 」ご 案 内

正善寺の精進料理を

お召し上がり下さい。

11月21日(日) 正午より

《お齋券》をお持ちください

かすみ草の会の皆さんは 9 時集合

来 年(23 年) の 年忌法要

()内は来年の対象年次数です。

- ・ 一 周 忌 (平成 22 年往生)
- ・ 三 回 忌 (平成 21 年往生)
- ・ 七 回 忌 (平成 17 年往生)
- ・ 十三回 忌 (平成 11 年往生)
- ・ 十七回 忌 (平成 7 年往生)
- ・ 二十五回 忌 (昭和 62 年往生)
- ・ 三十三回 忌 (昭和 54 年往生)
- ・ 五十回 忌 (昭和 37 年往生)

京都へ行こう 親鸞聖人

750回大遠忌法要

- ◎ 正善寺は4月コース・11月コースとしています。
- ◎ 23年4月のAコース(一泊二日)は、定員を超えたため、締め切りとなりました。参加希望の方はBコース(3泊4日)で申し込みください。
- ◎ 他のコースも申込が増えています。早めの申込をして下さい。費用は後からで結構です。
- ◎ 申込書は、お寺にあります。是非どうぞ!!

行事ご案内【報恩講は浄土真宗門信徒の最も大切な法要】

第76回 おゆうぎかい

とき 12月4日(土) 9:30より
ところ 神岳保育園ホール

じょやのかね 除夜会

12月31日(金) 大晦日

午後11時より 午前1時まで

平成23年修正会

元旦 午前1時より(除夜会終了後)

忘年会!!

1年間お世話になりました。今年もたくさんのお出遇いをいただきました。ありがたいこととです。年の瀬のひと時を皆さんと共に過ごしたいと存じます。お刺身、ふぐ鍋、おでんなど。今年も、本堂での開催と致します。お一人でも全然大丈夫! 気軽にご参加ください。お待ちしております。盛り上げますよ!!

とき 12月12日(日) 16:00より

ところ 正善寺本堂

会費 男性 4,500円 女性 3,500円
子ども 500円 当日集めます。

申し込み 12月10日までに本寺へ申込み

次回の法要のご案内

春季彼岸法要

【とき】 平成23年3月11日(金)昼夜席・12日(土)昼夜席・13日(日) 昼席

【講師】 下関市 本願寺派布教使 寺田教昭師

編集後記

今年も大切な「御正忌報恩講」をお迎えする11月になりました。年々、月日のたつ早さを感じるようになっていきます。

先日、高校生の娘が学校の宿題をしていました。それを見て、「そう、お母さんも宿題があるんだ」と「もう、学生ではないお母さんに何の宿題があるの?」と娘が聞いてきました。「あのね、お母さんがする宿題はね・・・お寺のこと、保育園のこと、家のこと、自分にできることを一生懸命やっていく生き様をあなたたち三人に見せることと、いつか(それは近いことかもしれないし、ずっとまだ先かもしれないけれど、悲しいことに順番が変わることもあるかもしれないけれど・・・)死んでいく、死に様をあなたたち三人にみせること。生かされているということは、必ずいつか死んでいくことだから」と、「お母さんが死ぬとかは考えられない」と娘、「いつ、どこでどのような形で終わろうとも、阿弥陀様がぴったりと寄り添っていて下さっているから大丈夫」と言ってお浄土に帰っていく姿をみせることができたらしいな、まだまだ自信はないけれど、そんな風におもっていることがお母さんの宿題なのと話しました。宿題が100点でも0点でもきっと阿弥陀様はつつんでくださっていますが、母としてできる大事なことだとおもっているのです。

「眠れない夜を嘆く者は多いが、目覚めた朝に感謝する者は少ない」目覚めた朝に感謝することができる心、生き方、死に方、に目を向けていくことに年齢はありません。どうかお一人でも多くの方々が本寺での法話に耳をかたむけていただき、阿弥陀様のお心にふれていただき、生死の事実しっかりと心の目を見開いてくださることを念じます。仏様のお話はあたたかいです。ご参詣こころよりおまちしております。 称 名